

### 3. 持続可能な地域づくり事業

#### (1)メディア・リテラシー市民ゼミナール

##### ◆市民ゼミナール・メディア・リテラシー

日 時	2015年12月12日(土)、19日(土)
場 所	とよなか国際交流センター
参加者数	のべ22人(うち外国人7人)
テーマ	メディア入門講座～メディアで発見!こんなところに「日本人」～
講 師	田島知之さん(京都府立大学非常勤講師)／登丸あすかさん(文京学院大学助教)
ワークショップ内容	・メディアリテラシーとは何か ・テレビを「分析」してみよう ・メディアが構成する「現実」 ・メディアが提示する価値観 ・オルタナティブな視点 ・コミュニケーションをつくりだす ・オルタナティブメディア作品『ぼくと沖縄と みんな』(てーげー部)上映と分析

##### ●実施内容詳細

(1)参加者同士の「対話の文化」を作る。(2)参加者一人ひとりが持つ価値観や社会の見方がメディアを通してどのように形成されてきたかを知り、メディア社会を主体的に生きる視点を獲得する。(3)マイノリティ市民の視点で考える力を獲得することで「多様な人々が尊重される地域づくり」の促進を目指している。

2015年は、メディアリテラシーに初めて接する人にも参加しやすいよう「メディア入門講座」として、講義やテレビ分析を中心に実施した。また日程も、土曜日の午後の時間帯に二週連続開催とし、より多くの人が参加できるように工夫をこらした。

#### (2)持続可能な開発のための教育(ESD)・防災・地域貢献

国連が提唱し2005年から始まった「持続可能な開発のための教育(ESD)の10年」を受け、2005年2月にキックオフをしたESDとよなかは、豊中市(関係5課)と市民活動中間支援団体(6社)が事務局会議を行いながら、緩やかにつながりながら10年間活動を行ってきた。今年度は、新たな10年のに向けてESDとよなか連絡会議をスタートさせるよう体であったが、各構成団体の内部論議が不十分であることから、次年度の課題として持ち越された。一方で、ESDセミナーはテーマを「あなたもクリエイター!～日常と社会を変える選択～」とし、3月17日と3月27日の2日に亘って開催した。セミナー①では、買い物と失業、預金と戦争、私たちが日常選んでいるものと社会問題が繋がっていることを、岩崎裕保さん(開発教育協会前代表理事)の講演を通して、私たちの日常の選択がどう社会に影響しているかを参加者と一緒に考えた。セミナー②では、買い物や寄付など、日常の選択により社会を変えることができることに気づくワークショップを行なった。この2回のセミナーにより、ESD活動の大切さと意義深さを再確認でき、地域の人々と顔の見える形で出会い、連携を深めることができた。

##### ◆2015年度 ESDとよなか連絡会議

実施日	参加者数	開催場所	構成団体&機関名
8月27日	13(1)	すてっぷセミナー室	NPO法人 とよなか市民環境会議アジェンダ21
10月1日	12(1)	環境交流センター	一般財団法人 とよなか人権文化まちづくり協会
10月29日	5(1)	とよなか国際交流センター	一般財団法人 とよなか男女共同参画推進財団
11月5日	11(1)	とよなか国際交流センター	公益財団法人 とよなか国際交流協会
1月12日	6(1)	とよなか国際交流センター	社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会
2月25日	10(2)	とよなか国際交流センター	赤ちゃんからの ESD、環境政策課、
3月17日	15(1)	とよなか国際交流センター	市民協働部 千里地域連携センター、
3月27日	18(0)	とよなか国際交流センター	人権政策課、人権教育課、生涯学習課
合 計	90(8)		

##### ◆防災訓練、セミナー等

東日本大震災5年目を迎え、豊中市や大阪国際交流財団(OFIX)との共催、豊中市社会福祉協議会後援で、3月11日に「大規模災害時における外国人支援セミナー」を開催し、豊中市危機管理課より豊中の災害時外国人支援の現状と課題を明らかにしてもらい、時光さん(NPO法人多文化共生マネージャー全国協議会事務局長)より、災害時の外国人が抱える問題や支援の方法などを講演いただき、参加者で災害時にどんなことが必要かを考えるワークショップをして、今できることと今後の課題を整理をした。最後に、来年度からもこのようなセミナー引き続き開催し、多言語支援情報・支援センターにつなげたいとの意見も出された。

11月26日には、エトレビル5階の男女共同参画推進財団(ステップ)との職員合同の火災避難訓練を行った。また、地域連携の一環として、今年度も豊中市(環境部)が実施する美化啓発行事など監督に積極的に職員や外国人ボランティアが参加した。また、すてっぷ・国流の職員合同火災訓練により、ビル火災時の危機管理と防災意識を高める取り組み:救急通報や消火器訓練などについて実践的に学んだ。

実施日	内 容	場 所	参加者数 (外国人)
6月25日	クリーン作戦①「駅前周辺清掃活動」 (豊中市美化啓発行事への参加)	阪急岡町駅前付近	3(2)
6月29日	とよなか市民環境会議	青年の家 いぶき	1(1)
11月13日	クリーン作戦②「駅前周辺清掃活動」	阪急豊中駅前付近	0(0)
11月26日	エトレビル5・6階すてっぷ・国流職員合同の火災訓練	エトレとよなかビル	29(5)
3月11日	大規模災害時における外国人支援セミナー	とよなか国際交流センター	47(10)

◆その他 国際理解教育などの講師の派遣など <のべ42件、82人を派遣>

	実施日	派遣先、内容	講師	人数
1	毎月1日	庄内神社幼稚園(国際理解)	フランス	1
2	5月1日	大阪市人権教育研究協議会(全体研修会)	職員(韓国・朝鮮)	1
3	6月8、10日	豊中市立新田小学校(国際理解)	フィリピン	1
4	6月10日	豊中市立小中学校教育研究会生活・総合研究会(外国の遊びや文化を体験する)	ペルー	1
5	6月15日	豊中市立のばたけこども園(在日イスラームの生活や課題について)	職員	1
6	6月19日	豊中市立第十一中学校(国際理解)	フィリピン(2)、中国、韓国、ペルー、フランス、スリランカ、タイ	8
7	6月18日～	大阪府立豊中支援学校(中学部・高等部)(英語学習)	フィリピン	1
8	7月2、9日	阪大院内学級 刀根山分教室①(英語学習・国際理解)	フィリピン	1
9	8月3日	八尾市立刑部小学校(教職員向け夏季研修)	職員(韓国・朝鮮)	1
10	8月3日	箕面市外国人教育研究協議会	職員(韓国・朝鮮)	1
11	8月6日	豊中市教職員2年目研修	職員	1
12	8月14日	すてっぷ(情報誌作成のための意見交流会)	職員	1
13	8月24日	吹田市外教 夏季研究会(フィリピンの文化、ルーツを持つ子どもへの支援について)	フィリピン	1
14	8月24日	高槻市立柳川中学校(教職員研修)(在日外国人の人権と生活の現状)	職員(韓国・朝鮮)	1
15	9月8日	猪名川町立松尾台小学校(PTA研修①)	ペルー	1
16	9月8日	大阪府立箕面東高等学校①(異文化交流入門)	アメリカ	1
17	9月14日	守口市立大久保中学校(人権研修)	スリランカ	1
18	9月24日	大阪府立三国中学校(人権学習)	職員(韓国・朝鮮)	1
19	10月20日	高槻市立柳川中学校(人権学習・国際理解)	フィリピン(2)、韓国、フランス	4
20	10月22日	箕面市在日外国人教育研究会(多文化共生教育)	職員(韓国・朝鮮)	1
21	10月24、25日	三重県教職員組合研究集会(多文化共生教育)	職員(韓国・朝鮮)	1
22	10月28日	茨木市立豊川中学校(多文化共生)	ネパール、中国、フランス、エジプト、フィリピン	5
23	10月30日	豊中市人権政策課(事業者向け研修)	職員	2
24	11月11、12日	豊中市立第二中学校(ボランティア体験学習)(国際理解「外国の友だちとどうかかわる?」)	マレーシア	1
25	11月12日	大阪府立豊中高等学校(人権学習)	フィリピン、エジプト、フランス(2)、韓国、中国、タイ、アフガニスタン、モンゴル	9
26	11月13日	東大阪市立孔舎衛中学校(人権学習)	フィリピン、アメリカ、職員(韓国・朝鮮)	3
27	11月17日	猪名川町立松尾台小学校(PTA研修②)	職員(韓国・朝鮮)	1
28	12月13日	愛知医科大学(多文化コミュニティにおける母子保健/子育て支援)	職員	1

29	12月16日	豊中市立蛭池小学校(異文化理解)	インド	1
30	1月15日	豊中市立第二中学校①(1年生国際理解)(全体向け)	職員(韓国・朝鮮)	1
31	1月21日	大阪府立池田高等学校(人権教育)	フランス、タイ、韓国、ドイツ、モロッコ	5
32	1月23日	大阪市立敷津小学校(International Day 世界の紙芝居ブース担当)	タイ	3
33	1月25日	(公社)子ども情報研究センター(家庭支援員研修)	職員	1
34	1月26日	大阪府立箕面東高等学校②(異文化交流入門)	アメリカ	1
35	1月27日	クレオ大阪子育て館(地域子育て活動者研修)	中国	1
36	1月29日	豊中市立第二中学校②(1年生国際理解)(各クラス)	フランス、インドネシア、中国、フィリピン、韓国	5
37	2月8日	一般財団法人大阪府人権協会	職員	1
38	2月10日	豊中市立第四中学校(国際理解・多文化共生)	フランス、韓国、フィリピン、ペルー、インドネシア	5
39	2月25、26日	阪大院内学級 刀根山分教室①(英語学習・国際理解)	モロッコ	1
40	2月23日	淀川区子ども子育てプラザ(地域支援者向け研修)	韓国	1
41	3月4日	豊中市立第四中学校(夜間)(教職員研修)	職員(韓国・朝鮮)	1
42	3月3、4、8日	大阪府立桜塚高等学校(韓国語学習)	韓国	2
合計				82

#### ◆その他 ネパール大地震緊急支援募金の実施

4月25日と5月12日に起こったネパール大地震の緊急募金を実施した。募金の送り先は、カーストの最底辺に位置づけられ、ネパール社会において周縁化されている被差別カースト「ダリット」の女性当事者団体「FEDO(フェミニストダリット協会)」。FEDO が実施するダリットの被災者への支援活動に対して、募金総額520,366円(内15,336円は2017年度送金予定)を寄付し、被災地域の緊急支援物資の配布や仮設住宅の建設費用、職業訓練等に役立ててもらった。

報告会として、5月16日には、被災地を訪れた元ジャーナリストの小倉清子さんを迎えての報告会をアジア友好ネットワーク、NPO法人国際交流団体未来、NPO法人国際交流の会とよなかと共催した(参加者130人)。また10月15日には協会理事の榎井縁さんによる被災地ならびにFEDOの取り組みに関する報告会を開催した。(参加者28人)

## 4. 持続可能な人づくり事業

### (1) ボランティア研修事業

#### ◆2015年日本語ボランティア養成講座

	実施日	テーマ	講師	参加者数 (うち外国人)
第1回	9月12日	①とよなか国際交流境界の取り組み	とよなか国際交流協会 山本愛	34(3)
		②外国人と共に暮らす～「戦後70年」に考える	飛田雄一さん(神戸学生青年センター)	37(3)
第2回	9月13日	③異文化理解・多文化共生のための参加型の学び	佐藤友紀さん(開発教育協会)	33(1)
合計				104(7)

#### ◆多文化子育て支援ボランティア養成講座

日本に暮らす外国人の定住化と国際結婚が増え続ける中、かれらの抱える課題を、同じく子育てをしている日本人に知ってもらい、すべての人が安心して子育てができるためには地域で何ができるかを考えるための講座を行った。講座終了後、各活動の見学を経て、豊中市親子参加型日本語教室「おかまち・おやおでにほんご」、「しようない・おやこでにほんご」、「多文化保育にこにこ」のボランティアとして活動し始めた。また、他事業の協会ボランティアも参加して研修の場とした。

<時間はいずれも 10 時～12 時>

実施日	テーマ	講師	参加者数 (うち外国人)
第 1 回 5 月 21 日	子どもの貧困～誰もが SOS を出せる社会へ	徳丸ゆき子さん (大阪子どもの貧困アクショングループ代表)	33(0)
第 2 回 5 月 28 日	傾聴とは？～聞くことから始めるボランティア	水田恵美さん (株式会社ひとまち)	37(0)
第 3 回 6 月 4 日	とよなか国際交流協会の取り組みと “おやこでにほんご”活動紹介	山根絵美(とよなか国際交流協会職員) おやこでにほんごのボランティア	41(3)
合 計			67(6)

◆哲学カフェ in とよなか国際交流センター

市民感覚で、提案されたテーマについて参加者みんなで問うたり、意見を出し合うスペースづくりを、フランス発祥の「哲学カフェ」を実践しているカフェ・フィロや大阪大学大学院文学研究科臨床哲学研究室の教員、大学院生、大学生と共に創出した。隔月で開催する哲学カフェも 7 年目を迎え、幅広い市民層を迎え入れながら定着してきた。2015 年度は、昨年度に引き続き、ミーティングでカフェ・フィロ、協会職員が一緒に話し合いテーマを決定した。また、チラシも進行役本人に作成してもらった。

	実施日	テーマ	進行役	参加者数 (うち外国人)
第 1 回	5 月 16 日	「心細い」ってどういうこと？	金和永(大阪大学大学院)	17(2)
第 2 回	7 月 18 日	ひとの力になるってどういうこと？	川崎唯史(大阪大学大学院)	15(1)
第 3 回	9 月 19 日	性別ってなんなの？	菊竹智之(大阪大学大学院)	20(1)
第 4 回	11 月 21 日	あなたの小さな悩みを(解決はできないけれど)みんなでいっしょに話しあって考えます。	桂ノ口結衣(大阪大学大学院)	13(1)
第 5 回	1 月 16 日	送ること送られることーお葬式は、誰のため？ー	高原耕平(大阪大学大学院)	20(4)
第 6 回	3 月 19 日	「ほめる」ってなに？	鈴木径一郎(大阪大学大学院)	18(2)
合 計				103(11)

◆多様な支援をする人のための対話の会

教員や市民団体で活動するスタッフ・ボランティアなど支援者向けの対話の会を、カフェフィロの協力をうけて開催した。対人支援にかかわる悩みや考えを安心して発言できる空間で共有し、解決をはかる場とした。

<進行役は高橋綾さん(カフェフィロ)>

	実施日	参加者数(人)(うち外国人)
第 1 回	4 月 4 日	6(2)
第 2 回	6 月 27 日	6(2)
第 3 回	8 月 22 日	5(2)
第 4 回	10 月 24 日	6(2)
第 5 回	1 月 30 日	5(2)
		28(10)

◆学生受け入れ

大阪大学未来共生機構第五部門未来共生イノベーター博士課程プログラム「公共サービス・ラーニング」の一環として、以下 1 人の学生を受け入れた。

大阪大学人間科学研究科	S.T さん	図書整理業務、「おまつり地球一周クラブ」運営業務、多文化フェスティバルにおける企画運営、など
-------------	--------	--

◆マイノリティの人権から共生社会を考える連続セミナー

部落問題および、人権の視点でまちづくりをすすめることの重要性や、北京女性会議からの 20 年間をふまえて、マイノリティ女性の視点からみた日本社会の課題について知り、日本社会が抱える構造的な問題と私たちのかかわりについて考える。そして、あらゆる差別の撤廃を地域からすすめる、すべての人びとがいかにされるまちづくりを豊中で実現するためどう行動できるか、話し合った。

実施日	テーマ	講師	参加者数 (うち外国人)
第1回 6/20 15:00～17:00	「それぞれの部落問題～にんげんのまちづくりの取り組みから」	山本義彦さん(社会福祉法人あさか会理事長)／角岡伸彦さん(フリーライター)／大源文造さん(豊中市教育長)	31(3)
第2回 6/27 15:00～17:00	「北京女性会議から20年」	藤岡美恵子さん(法政大学)／皇甫康子さん(小学校教員)／榎井縁さん(大阪大学)	26(4)
第3回 7/4 15:00～17:00	「気づき・学びから行動へ」	金相文(とよなか国際交流協会事務局長)／西村寿子さん(すてっぶ)	16(3)
合 計			73(10)

#### ◆市民セミナー

今年度より地域で人権課題に取り組む人を招き、国際のみならず幅広いテーマで学びを深め、多文化共生社会をつくる人づくりを目的とした市民向けセミナーを開催した。日中は仕事等でセンターの行事に参加できない層の参加も多く、利用者の幅が広がった。

実施日	テーマ	講師	参加者数 (うち外国人)
6月12日 18:30～20:00	「とよなか国流 そして、それぞれの歩み」	榎井縁(大阪大学)、朴隆二(スタベコ 1船長)	25(5)
10月23日 18:30～20:00	フィリピンルーツの青年の歩みから見える日本(移住)社会	ラボルテ雅樹(とよなか国際交流協会若者支援事業コーディネーター)	38(11)
2016年 1月23日 18:30～20:30	「ぼくと沖縄と みんな」上映会	黒島トーマス友基(とよなか国際交流協会若者支援事業コーディネーター)	32(11)
合 計			95(27)

#### ◆ボランティア説明会

協会実施事業の紹介およびボランティアになるための方法(養成講座の案内等)について情報提供した。

実施日	内容	参加者数
5月9日(土)14:00～15:30	外国人のおかれている状況および協会事業説明／各事業紹介	38

## 5. 子ども国際事業

### (1)おまつり地球一周クラブ

地域に暮らす外国人を中心に日本人も含め、ともに国際理解講座や遊びを通じて国際感覚を持った子どもたちを育成し、豊かな地域社会を構築することを目的として実施した。また、外国人講師の力を発揮する機会にもなった。2015年度は開催回数が例年に比べて少なかったが、登録団体との共催に初めてチャレンジしたり、実験イベント企画で好評を得たり、と次年度につながる試みができた。

	実施日	テーマ	参加者数(人)		
			子ども	外国人	
第1回	7月26日	シンチャオ!ベトナム	16	8	4
第2回	8月10日	おやこ de クッキング!作ってみよう韓国料理	12	6	5
第3回	8月17日	エジソン電球とかんたん科学実験	40	24	5
第4回	12月12日	ペルーのクリスマスパーティー	41	32	5
第5回	3月31日	フィリピンをしろう!!	23	14	4
総合計			132	84	23

### (2)チョアチョアハングル講座

ハングル学習を通して一番近い国の文化を体験・学習するプログラムは「うきうきハングル」として地域に住む子どもたちに長年親しまれてきた。この数年は韓国出身の講師やボランティアの都合が合わず開催していなかったが、2013年度からおまつり地球一周クラブの中で、「チョアチョアハングル」としてリニューアル開催している。今年度は6月～2月の第4土曜に実施し、計5回開催した。 <指導者:キルドンソク>

	実施日	テーマ	参加者数(人)		
			子ども	外国人	
第1回	6月27日	韓国式あいさつ、自己紹介、民族衣装を着よう	27	16	6
第2回	7月25日	韓国スイーツを作ろう～ハッピー～	32	15	7
第3回	10月24日	コリアタウンへ行こう	13	4	3
第4回	1月23日	楽器・テコンドー	15	7	4
第5回	2月27日	市場ごっこ	17	9	2
総合計			104	51	22

### (3)韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい

韓国・朝鮮につながりのある子どもたちが、毎月第3土曜日に集まり、民族講師(ソンセンニム)から、民族の文化や遊びを学び通して、自尊感情を培うとともに、友だち(チング)とのつながりを深める場を設けた。市内小中学校の先生方が主体の「韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい」実行委員会が中心となり、「つどい」の運営を進めている。<民族講師(ソンセンニム):金生遵、柳敬修、姜正美>

	日程	内 容	参加者数(うち外国人)	先生(うち外国人 ※ソンセンニム含む)
—	4月18日	実行委員ミーティング	—	7(3)
第1回	5月16日	開講式・自己紹介・ハングル名札づくり・あそび	12(12)	12(3)
第2回	6月27日	ウリナラの七夕	9(9)	11(3)
第3回	9月19日	秋夕(チュソク)・絵を描こう	5(5)	7(3)
第4回	10月17日	友だち展の絵・タルチュムノリ	5(5)	9(4)
第5回	11月21日	タルチュムノリ(仮面をつけた踊り)	9(9)	9(4)
第6回	12月19日	キムチを作ろう	22(14)	12(5)
第7回	1月16日	ノリゲを作ろう	10(10)	12(5)
第8回	2月20日	1年のふりかえり感想文	7(7)	11(5)
第9回	3月19日	修了式	12(12)	16(5)
合 計			91(83)	106(40)
総合計			197(123)	

### ◆ハギハッキョ(夏期学校)

日程	名前	場所	参加者
7月28・29日	小学生のハギハッキョ	豊中市立千成小学校	76
8月6日・7日	ハギハッキョ・キャンプ	豊中市青少年自然の家わっぱる	29
総合計			105

## Ⅱ. 周縁化される外国人のための総合的なしくみづくり事業

### 1. おとなサポート事業

#### (1) 相談サービス

生活相談・外国人女性専用電話相談		相談件数(臨時通訳含む)計: <b>973 件</b>
毎週金曜日	11:00~16:00	
相談員	吉嶋かおり(臨床心理士)	
就労相談コーディネーター	植木美恵子	
多言語スタッフ	中国語	賈晨
	韓国・朝鮮語	朴貞淑
	フィリピン語・英語	平松マリア
	タイ語	ラッタナセリーウオン・センティアン
	ベトナム語	グエン・ティ・ジェム・ニュン/グエン・ティ・ジェム・ミン
	スペイン語	滝本クラウディア
	インドネシア語	カスイ・プリスカ・サフィトリ
臨時通訳	臨時通訳件数: 5 件	

#### ◆相談件数

2015年度の相談件数は973件、前年度が948件だったため、前年度比2.6%増だった。約2倍に増加した2014年度とほぼ同件数であった。問題の解決が一回の相談対応で終わらず、継続が必要な相談が多く寄せられていること、2014年度から支援が継続している裁判ケースに加え、他の裁判ケースの支援も増加していることなどが、相談件数の2年連続増加状況の背景として挙げられる。

相談者の居住地は、例年通り豊中市が最も多く、34.1%だった。センター事業の「利用者」からの相談は、例年通り豊中市民が約65%を占めた。大阪府下全域では79.1%であり、この割合は例年と変わらない。他に、近畿の他府県だけでなく、電話やメールで全国、海外からも相談が寄せられている。

国籍は例年通りフィリピンが最も多く49.6%。フィリピン語での相談が大阪ではほとんどないため、当方に集中していることに加え、継続対応が必要な相談内容が多い。長年実施してきているため、口コミで相談につながっている。次いで中国が6.8%、韓国5.4%、ペルー5.1%となっている。日本国籍者からの相談も多く、9.3%を占めている。日本と外国の二重国籍者が7件(未成年)、日本国籍だがルーツが日本以外の方は67件だった。日本国籍で使用言語が日本語以外の相談は40件、外国籍だが日本語で相談を行ったのは303件(約30%)、そのうち相談対応言語以外の言語を公用語(母語)とするものは30件、3カ国語だった。日本語で対応した相談は、日本語での会話が可能で、プライバシーを守りたいために、あえて日本人スタッフへの対応を求めたものと、関係機関との連携によるものが多かった。国籍は33カ国に及んだ。

在留資格は定住者39.5%、永住者11.3%、配偶者9.8%だった。

職業では介護職が18.1%、パート・アルバイトが15.3%、無職が13.9%だった。無職は生活保護受給者が多く、就労者はほぼ非正規労働者である。

<相談内容と件数> (1件の相談で複数の相談テーマがあるため、相談件数より母数は大きい)

大項目	件数	割合 (%)	昨年度件数 (増%)	小項目 <カッコ内は全件に占める割合 (%) >
夫婦関係	210	15.4	185 (113)	DV(2.2)、離婚(5.9)、親権・養育費(5.4)、不和・不満(1.2)、国際結婚(0.4)、その他(0.4)
手続き	148	10.9	145 (102)	在留資格など(5.1)、家族呼び寄せ(2.0)、養子(0.1)、日本国籍取得・帰化(2.3)、その他(1.4)
生活	346	25.4	328 (105)	日常生活(4.2)、行政手続き(8.0)、住居(5.6)、日本語学習(3.3)、金銭問題(2.6)、交通事故(0.3)、生活困窮(1.3) その他(0.1)
保健	53	3.9	54 (98)	メンタルヘルス(0.3)、医療(2.3)、母子保健(0.7)、その他(0.6)

人間関係	37	2.7	43 (86)	家庭(0.8)、友人(0.8)、地域(0.3)、職場(0.4)、その他(0.4)
労働	357	26.2	261 (137)	求職(5.1)、就労定着上の問題(1.7)、失業・退職(1.4)、労災(0.0)、給料未払(7.8)、その他(10.2)
子ども	151	11.1	100 (151)	子育て(2.3)、学校(5.4)、保育所・幼稚園(2.4)、その他(1.0)
その他	60	4.4	39 (154)	人権侵害(2.4)、その他(2.0)

※2015年度から、「手続き」の中に「日本国籍取得・帰化」と、「生活」の中に「生活困窮」の小項目を設けた。「日本国籍取得・帰化」はジャパニーズ・フィリピン・チルドレンの日本国籍取得手続きの相談がほとんどを占める。「生活困窮」の相談件数は18件だが、生保受給者の相談は約100件あり、約10%を占めている。

#### ◆機関連携

他機関からの問い合わせ、他機関で受けた相談者への支援依頼など、他機関との連携による相談は183件(18.8%)だった。機関連携で多いのは、法的対応にかかる弁護士との連携、経済的困窮者(生活保護受給者含む)の家庭や生活上等の問題、就労支援、労働問題、DV被害者への対応、子どもの学校生活における問題、等であった。

豊中市	人権政策室、保健センター、子ども家庭相談室、教育委員会、幼稚園、小・中学校、福祉事務所、地域就労支援センター(雇用労働課)、市民相談課
豊中市以外の自治体・学校	女性相談支援機関、他市DV担当、府・他市教育委員会、他市子ども家庭相談室、他市福祉事務所、公立高校、
公的支援機関	年金事務所、府・市社会福祉協議会、母子福祉支援施設、公営住宅、他市国際交流センター
その他支援機関	いくの学園、チャーム他支援団体、JFC ネットワーク、人権擁護団体
その他	弁護士、病院、協会事業ボランティア、メディア、研究者

#### ◆スタッフ研修(内部・外部)

相談事業スタッフの研修を行い、相談員としての基本的な知識・スキルを学び資質向上をはかった。

実施日	テーマ 講師	参加者数(人)
5月8日	改定入管法と在留資格についての勉強会 講師: 田代正義さん(行政書士)	13(10)
7月25日	【外部研修】移住女性の権利保障とエンパワメント 共催: ヒューライツ大阪、人種差別撤廃 NGO ネットワーク、反差別国際運動日本委員会	1(0)
8月9日	外国人技能実習生制度を知ろう 講師: 四方久寛さん(弁護士/マイグランド研究会)	40(12)
1月15日	相談の対応スキルについて 講師: 吉嶋かおり(相談員)	14(9)
合計		68(31)

#### ◆外国人のための多言語セミナー／一日相談会

相談事業によせられる相談から課題を抽出してセミナー化し、広く情報提供をはかった。すべての講座に通訳と保育をつけて、外国人女性が参加しやすい環境を整えた。また、特定のテーマでの専門家による一日相談会も開催した。

実施日	テーマ 講師	参加者数 (人)
8月9日	外国人のための一日生活・労働相談会 相談員: 弁護士3人、行政書士1人、協会相談員2人、OFIX相談員1人 共催: 大阪府国際交流財団(OFIX)	22(21)



12月18日	行政書士による外国人のための無料相談会 相談員:行政書士3人 共催:大阪府行政書士会豊能支部	14(10)
2016年 2月12日	外国人のための確定申告相談会 相談員:税理士1人	7(7)
3月4日	中国交流会 ファシリテーター:賈晨(協会中国語多言語スタッフ)	52(48)
3月25日	外国人女性向けセミナー「もっと幸せになるための夫婦間コミュニケーション講座&無料健康相談会 講師:阪幸江さん(臨床心理士) 共催:NPO法人チャーム、協力:豊中市保健センター	48(39)
合計		143(125)

#### ◆地域連携

実施日	内容
6月26日、1月29日	豊中市 保健師会への参加・情報提供(中部保健センター)
7月21日	子育て・育ち 克明校区連絡会
2月5日	DV防止ネットワーク会議 ケース検討会議
7月13日、12月18日	DV防止ネットワーク会議 実務担当者会議
6月23日	虐待防止ネットワーク会議
7月9日	人権相談機関ネットワーク会議
12月8日	大阪府外国人向け行政情報提供窓口相談員ネットワーク会議
7月21日、23日、27日、31日 8月3日、17日 2月23日、25日 3月1日、3日、7日、9日、10日	豊中市社会福祉協議会主催 地域福祉ネットワーク会議
1月27日	OFIXでの1日相談会実施団体によるふりかえり会議
3月8日	人権相談機関ネットワーク会議
	庄内図書館多言語利用案内の翻訳協力(3言語)
	豊中市スポーツ振興事業団の豊中市スポーツ施設案内の多言語案内翻訳協力(9言語)

#### ◆シンポジウム「勝手に離婚されるだけじゃない！無法地帯の協議離婚を考える」のフォロー

2014年度に実施したシンポジウムでは、協議離婚制度の簡便さから、日本人配偶者である夫から、勝手に離婚届を出されるという相談ケースをふまえて国際結婚の事例をもとに、協議離婚制度の問題について提起し、議論を深めた。今年度は当該ケースに関して共同通信社の取材を継続的に受入れ、全国の多くの地方紙に「勝手に離婚された」事例と協議離婚制度の課題が掲載され、相談事業から見えてきた課題についての問題提起を引き続き行った。

#### ◆「日本語支援グループ・むすびめ」との協働事業 <日本語能力検定試験サポート>

2009年度～2010年度文化庁委嘱事業「多文化共生社会の基盤をつくるための“むすびめ”を生み出す日本語

参加者数	121人(うち外国人70人)	
サポートのべ回数	47回	
サポートのべ時間数	139時間	
内容	日本語検定試験のためのボランティアによる個別指導	
実施日	4月	7、14、28
	5月	12、19、22、26、
	6月	1、2、9、15、16、23、29、30
	9月	8、15、22、28、29
	10月	6、13、20、27
	11月	10、17、24
	12月	1、3

コーディネーター研修(むすびめ事業)で研修を受けたボランティアが中心となり、2011年度に「日本語支援グループ・むすびめ」が結成され、月曜日のにほんご活動事業「もっともつつかえるにほんご」の運営および、外国人への具体的な仕事や資格につながる支援事業(主に日本語を切り口とした)を協会と共催した。就労のための資格取得サポートの一環として、日本語能力検定試験にむけた個別サポートを実施した。毎週火曜日の開催とし、試験日の3ヶ月前からの実施をおこなった。